

令和4年

第2回 定例会

6月14日～6月27日

26案件

議案 11案件

諮詢 2案件

報告 7案件

意見書案 6案件

●質疑とは……

議会に提出した議案に対してその内容や不明な点を聞くことです。

総務文教常任委員会・産業民生常任委員会

Pick up 1 常任委員会

《総務文教常任委員会》

《産業民生常任委員会》

◎議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

◎伊達市税条例等の一部を改

正する条例

◎伊達市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

◎伊達市特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例

両委員会に付託案件については承認されました。

Pick up 2

スマートフォン等で まちの情報がもっと手軽に

LINEを活用することにより、欲しい情報を手軽に取れるほか、質問の自動応答、様々な予約受付等も行えるようにするため、約449万円を補正する。



考えているのか。

質疑▼当初予算ではなく、今回、補正予算とした理由は。

答弁▼「LINEアプリについてはこれまで検討していたが、「伊達市くらしの情報アプリ」の有料更新が必要になつたためであ

ります。伊達市くらしの情報アプリ」の有料更新が必要になつたためであ

質疑▼導入に際し、コンテンツはどういったものを検討しているのか。

答弁▼セグメント配信（登録者が好みのものを選択する）定期配信、自動応答といったものを考へている。

質疑▼いつごろからの運用を



答弁▼稼働させるには3ヶ月程度の準備が必要。

堆肥の発酵を促進させるための送風装置の修繕を行うため、約775万円を補正する。

Pick up 3

堆肥センター維持管理



答弁▼北海道とも十分連携しつつ判断していきたい。

質疑▼建築後かなりの年数が経過しているが、修繕と判断した経緯は。

答弁▼この施設で使われている設備が受注生産であり、新規購入は高額になるため部品の交換で済む修繕を選択した。

質疑▼工事完了予定は。

答弁▼遅くとも10月の前半頃には終わると聞いている。

質疑▼堆肥センターをめぐる議論は過去にもあつた。

今後についてはどのように考へているか。



修繕する送風装置

Pick up 4

だて歴史文化ミュージアム 特別展開催

だて歴史文化ミュージアム来館者の増加を目的に、旧おおたき陶芸館入選作品及び現代道内陶芸家の作品を秋季特別企画として開催するため、213万円を補助する。

こんな質疑がありました。

質疑▼館内のどこを使うのか。

答弁▼1階のラーニング・スタジオで体験学習も計画している。

質疑▼予定している道内陶芸作家、及び期間は。

答弁▼伊達に居住していたことのある柴山氏など9名の作家を予定している。
期間は10月4日から16日を予定している。



特別展開催予定のスタジオ(だて歴史文化ミュージアム)

Pick up 5

市内宿泊事業者を応援

新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ市内宿泊事業者へ宿泊料金の支援を行う伊達商工会議所に対し事業費5,500万円を補助をする。

こんな質疑がありました。

質疑▼コロナ禍での市内宿泊業者の影響は？

答弁▼コロナ禍前と比較し10万人ほど落ち込んでおり、4月の調査でも回復していないことから事業化した。

答弁▼伊達に居住していたことのある柴山氏など9名の作家を予定している。
名称は「だて割」とし「どうみん割」と併用を考えている。

